



2024.10.16 第24号

森田 博

紫金山・アトラス彗星

明日10/17はスーパームーン
6年「大地のつくり」



紫金山・アトラス彗星が観測できます!! 10月20日まで☆彗

「森田先生! 彗星見た! ?」そう笑みを浮かべて聞いてくださった泉先生。「ええっ…! ? 水星! ?」と勘違いやら、全く天体情報を最近得ずに過ごしていた自分を後悔しました。彗星は、氷と塵(ちり)のかたまりで、太陽に近づくと、核の中の氷が溶けてガスや塵が放出され、尾ができます。半径数km~数十kmほどの大きさの太陽系小天体です。水星は、太陽から一番近い惑星です。



今回肉眼でも見える彗星は、「紫金山・アトラス彗星」と言って、去年、中国の紫金山天文台と南アフリカのアトラス望遠鏡によって発見された彗星です。日を追うごとに高度が徐々に上がっていき、今日16日から20日ごろまでは、肉眼でぼんやり見えます。南西の低い位置にも金星が見え、その右上の西の空に彗星が見えます。日没直後の西の空を毎日見たいと思います。泉先生! いつも月や星の話題をいただきありがとうございます!! 見逃すとこでした…。

10月17日(木) 天気は晴れ☀️予報!! スーパームーン 🌕

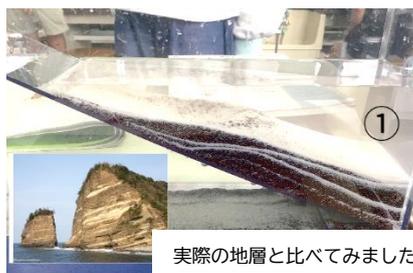
今年は満月が12回あるそうで、その10回目にあたる今月の満月は、地球に最も近い距離で満月となる「今年最大かつ最も明るいスーパームーン」と言われています。10月の満月は「ハンターズムーン(狩りの月)」の異名も持つ。夕暮れ時の美しい月の出を見逃さないようにしたい!!

紫金山・アトラス彗星といい、スーパームーンといい、今週は天体ショーが目白押し!!

新しい実験装置で、地層のでき方を観察しました。



理科では、「理振(りしん)」と略され、国からの理科教材購入助成があります。これは、「理科教育振興法」(理振法)と呼ばれる法律を基に、日本理科教育振興協会から助成金が入る制度です。昨年度の予算から助成金で購入した、「堆積実験水そうセット」で初めて実験をしました。これには、粒の大きさや色が違う砂が付属していて、本当に分かりやすい実験器具です。わくわくしながら子どもたちと実験をしました。結果はばっちり!! 「うわーきれい!」「ほんまにしましまやっ!!」と実験する子どもたちの声が聞こえてきました。



実際の地層と比べてみました。

ビンの中に学校周辺で集めた大きさの違う石や砂を水と混ぜたもの

←実際に私が琵琶湖博物館で撮影したパネル資料を教材化しました。



理科準備室に保管してある南郷里小の地盤調査のボーリング試料 ⇨

